



第 7 号

# 高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 7 0 号

## 暑中お見舞い申し上げます

盛夏のことばかり夏まつりですが、皆様にはますますご健勝のことと暑中お見舞い申し上げます。また、大きな事故もなく、無事に 1 学期の終業式を迎えることができたのは皆様方のご理解とご協力のお陰です。ありがとうございます。

1 学期を振り返ってみますと、4 月、1 年生 60 名を迎え、全校生徒 120 名と高知国際中学校 2 年目をスタートさせました。今年度から学校給食も始まりました。ランチルームでの全校給食に最初はどれだけ時間がかかるだろうかと心配していましたが、今では効率よく配膳し、時間内に喫食もできています。1 年生も制服姿になじみ、高知国際中学校の生徒としての自信と誇りに満ちあふれた姿や探究心に輝く瞳を見るたびに本当に嬉しく思います。また、毎日の授業において探究サイクルを繰り返し経験し、学び方を学ぶことを根底に置いた主体的・協働的な探究型学習を通して、日々成長する生徒たちに感動するとともにエネルギーあふれる行動に感心するばかりです。

5 月 2 8 日(火)には高知南中学校との交流事業の一環として、東京演劇集団「風」による「ヘレンケラー」を高知南中学校の生徒の皆さんと一緒に観劇しました。また、6 月 2 8 日(金)にはハーバード大学の男性合唱団クロコディオスとの交流、そして、7 月 5 日(金)には狂言師三宅藤九郎さんによる講話など様々な文化に触れ、本物のすばらしさを感じることができました。6 月 2 3 日(日)に開催した第 1 回オープンスクールには、約 800 人の児童や保護者の方等の参加がありました。県民の方々の関心の高さを改めて知るとともに本校に課された重責を感じました。1 年生は公開授業のみでしたが、2 年生は運営補助や各ブースでのプレゼンテーションなどを計画から当日の運営まで自分たちで考え、実践しました。

これまで本校には県内はもちろんのこと全国さまざまなおところから視察や訪問がありました。本年度に入ってから現在まで 22 件延べ 174 名の来校がありました。(公開授業週間の来校者も含みます)。先日も全国の都道府県教育委員会連合会の方々が 4 7 名来校されました。参加者からは「どの授業でも子供たちが前のめりになって、意欲的に取り組んでいる姿に感動しました」との感想がありました。自分のことのように本当に嬉しかったです。

7 月 2 0 日(土)から 8 月 2 5 日(日)まで夏期休業期間となります。生徒のみなさんには無限の可能性が広がります。自分の力をどこまで伸ばせるか、この夏休みに挑戦してみてください。皆様にとってよい夏でありますように！

## オープンスクールを行ないました

担当：総務・ICT 教育部

6 月 2 3 日(日)、5・6 年生とその保護者、関係者を対象に令和元年度第 1 回オープンスクールを行ないました。これまで多くのオープンスクールを行なって来ましたが、年々関心は高まり、今年はなんと約 800 名の参加者がありました。

今回は、オープンスクールに参加する 5・6 年生が受ける体験授業や学校全体の説明会といった大人がする必要があること以外の部分については、教師の支援のもとすべて生徒が企画し運営するという方法を取りました。

2 年生は担当教員と打ち合わせを重ね、「IB における学習とは何か」、「高知国際中の中学生は普段どんなふうに通っているか」など、自分たちが実際に高知国際中学生として生活してきた経験に基づくプレゼンテーションを行いました。これらは大変盛況で、終了時に回収したアンケートにも大変好意的な評価をいただきました。

今回のオープンスクールでは、1 年生は授業中の学習活動を公開するのみでしたが、今後は先輩たちに続いて、自分たちの学校を自分たちの手で紹介していくようになります。多くの方々にこの学校の素晴らしさを伝えていきます。



校長の説明を聞く参加者の方々（ランチルーム）



一般の方に公開した 1 年生の授業（教室）

# ハーバード大学から男声合唱団がやって来た。

担当：生徒指導・サポート部

6月28日(金)、世界有数の教育機関であるハーバード大学(アメリカ合衆国)の男性だけでつくるア・カペラグループ「ハーバード大学クロコディロス」が、高知国際中学校にやって来ました。毎年夏休みに10週間、世界中を巡ってコンサートを行なっている団体で、「第69回高知芸術祭プレイベント」の一環として来高し、本校での交流が実現しました。

ランチルームで交流イベントを開催し、合唱の披露だけでなく生徒たちや本校教員との楽しいセッションを行いました。

また、この日は高知西高校の創立記念日でもあったため、高知西高校は7時間目に体育館で記念の集会が行われました。そこに本校中学生とクロコディロスと一緒に一体となって、「Michael Row The Boat Ashore」の合唱をサプライズプレゼントしました。



ランチルームでの楽しい交流

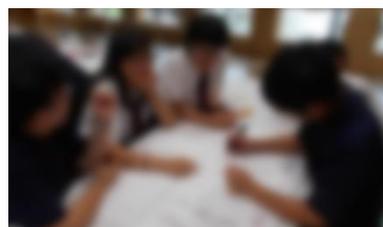
## 防災教育

担当：総務・ICT 教育部

昨年の「平成30年7月豪雨」では高知自動車道が一部区間で崩落するなど、西日本各地で甚大な被害がでました。近い将来に起こることが確実視されている「南海トラフ地震」を想定するまでもなく、気象災害は大変身近な問題です。また中学校では年間5回の防災教育を実施することが定められていることもあり、7月10日(水)、6・7時間目に「第3回防災教育」を行ないました。当日は学年ごとにわかれ、段ボールを利用した防災トイレや新聞紙で作る防災食器・スリッパなどの製作体験と、高知市地域防災推進課の方を招いて「クロスロード」を行ないました。「クロスロード」とは阪神・淡路大震災で災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューをもとに作成されたカードゲームで、災害時に発生する様々な状況に対し、チームで議論して判断を下していくというものです。防災グッズ作りでは、1年生の保護者の方を講師に3人組で段ボールからトイレを作りました。みんな一生懸命にトイレの構造を理解しつつオリジナルアイデアを反映するという個性を発揮していました。またクロスロードでは、そもそも正しい答えがない状況でどれだけ根拠を持った判断を下すか、またチームで判断が分かれたときにどのように意見をすり合わせていくのかという、まさにIBの学びが繰り広げられていました。



真剣な眼差しで段ボールを切り出す1年生



人命救助か避難を優先するかで議論が白熱(クロスロード)

## 保護者シェア会

担当：MYPコーディネーター

防災教育を行った当日(令和元年7月10日(水))の17時から「保護者シェア会」を行ないました。これは、本校が採用するIBという新しい教育プログラムについての理解を深めていくために、保護者と教職員が一緒になって学習する会のことです。今年度2回目の今回は、ちょうど1学期も終わることから成績についての学習会としました。そもそも成績とは何なのか、成績を評価するとはどうすることなのかについて、MYPコーディネーターから概念的な理解と教務担当から具体的な評価の仕方に関する説明を中心とした活動を行いました。この会は、MYPコーディネーターからの「成績とは何だと思えますか？ 私は例えば成績とは『今日』のようなものだと思います。これはどういう意味でしょうか？」という質問から始まりました。各自がそれぞれの意見を持ち、それをまわりの人とシェアするという、IBの基本的な学習スタイルを応用したこのプレゼンテーションは、ほとんど同じ内容で中学1年生にも行ないました。最終的な理解の到達点は、成績がもつ2つの側面、つまり過去の結果であるとともに未来の原因でもあるという性質を知ることでした(ですから「今日」なのです)。今日の自分はこれまでの考えや行動の結果であると同時に、未来にどんな自分になるかを定める一歩を踏み出すことができる存在であるともいえます。IBは、学校での学びが社会とつながっているということを強く信じています。明日のために今日、どんな一歩を踏み出すか、昨日までの在り方を振り返って今日どのように生きていくか。学校での学習の成績とその評価の意味を理解することは、生き方にもつながっているといえます。お子様の評価が出ましたら、ぜひその数値について議論するのではなく、どのようなことが原因で良くも悪くもその数値となったのか、また2学期により高い理解に到達し技能を獲得するためにはこれまでの何をどのように変化させればよいのかについて、様々な角度から話し合ってみてはいかがでしょうか。スケジュールの立て方や優先順位の付け方など、私たち大人が提案できることはたくさんあると思います。

## 高知国際中学校の学び

担当：MYPコーディネーター

本校を含むIB校では「構成主義」という学習理論を採用しています。これは「知識は、個人や共同体で構成されるもの」という考え方です。本校では「知識」と「情報」を厳密に区分して考えており、もの名前や数値などは「情報」であって「知識」とは見なされません。「知識」についての定義は様々ありますが、ここでは「課題解決に使うことができる体系化された情報の集まり」だということができます。これはスキル（技能）という側面も持ち合わせていると考えられますので、使えるようになるためには実践することが必要となります。したがって、生徒たちの学習は、基本的に知識を自分たちで探究して組み立てて、何らかの課題—それが与えられたものでも発見したのもでも—を解決するということが中心となります。またこの活動を通じて、人間の認識の特徴である「概念化」について理解を深めていきます。学習の最終段階では、その学習に対して自分がどのように取り組んだかを客観的に分析し、より効果的に次の学習が進むようにします。これらは授業のまとまり（ユニット）の最初に提示されるルーブリックという評価基準を満たすように取り組みます。このサイクルを本校では「探究のサイクル」としており、この過程を繰り返すことで、より頑健性をもつ知識の獲得を目指しています。

## 国語について

担当：国語科

授業公開週間（6月6日（木）～6月12日（水））で国語科の授業を参観していただき、ありがとうございます。その中で貴重な質問をいただきました。「国語の授業のねらいは発表であったのか。今後の中1の国語において、発表以外にどのようなものをする予定であるか。『楽しく学べる文法ノート』の使用時期について教えて欲しい」というものです。

まず、「国語の授業のねらいは発表であったのか」についてです。公開週間にご覧いただいた授業（単元名「日本を紹介する」）のねらいは2点です。1点目は、自国の文化について知り、「日本はどのような国であるか」を考え、考えたことをまとめて聞き手に分かりやすく伝えること。2点目は、「伝わりやすい発表とは何か」について、実践を通じて学ぶことです。

次に「今後の中1の国語において、発表以外にどのようなものをする予定であるか」についてです。今後は、文学作品を通じて表現の方法を学習し、説明文をとおして書き方の構成を学習します。2学期以降は古典作品を取り上げ、日本語の言葉の変遷について学ぶとともに、過去と現在の文化や考え方についての共通点や相違点を考えていく予定です。また、書写については各学期で実施します。単元の評価方法は、各学期のテストや授業内の小テスト、課題作文、作品制作など様々な形で評価をします。

最後に、「『楽しく学べる文法ノート』は2学期より始まる文法学習で使用します。現在、週4時間の国語の授業があります。そのうち週1時間を文法学習に充てます。『楽しく学べる文法ノート』を使用する際には事前に連絡をします。国語科では、「言語と文学」の本質、「言語と文学」に影響を与える多くのもの、そしてその力と美について正しい理解を身につけていくことを目標に授業をすすめています。さらに今後は、創造的なプロセスを取り入れて、自己表現を通じた想像と創造性の育成をするべく努めてまいります。

## 聴講生

教頭 片岡真希

本校はできる限り外国からの聴講生に対し、好意的に対応しています。本年度に入って既に3人の聴講生が本校で学校生活を体験しました。この度は、令和元年6月27日～7月12日の間、本校の聴講生として一緒に授業等を体験したフランス国籍の聴講生から、本校にお世話になったことに対する挨拶をいただいたので紹介します。

t was a funny and cool 9 days of school in Japan.  
The students and the teachers are all friendly!  
New I want to stay here because it's nice to learn and everyone have a big smile.  
If I can,I want to come back and have fun every day,like now!  
I got some new friends and got lot of power for my future etc.  
So thank you,thank you all the teachers and the student,all the PEOPLE!!!  
I hope I will come back.  
Bye ! and merci !ありがとうございます。Danke sch öne !

日本の学校でのおもしろくて素晴らしい9日間でした。生徒も先生もみんなフレンドリーです！  
学ぶのに適しており、みんな素敵な笑顔があるので、ここにいたいと思っています。  
もし可能なら、戻ってきて今のように楽しい毎日を過ごしたい！新しい友だちや未来へのパワーなどを得ることができました。ありがとうございます。すべての先生と生徒、すべての人に感謝します！！  
また戻ってきたいです。さようなら！そして、メルシー！ありがとうございます。ダンケシェーン！  
（最後はフランス語、日本語、ドイツ語で感謝の言葉を書いてくれました）

# それゆけ！突撃インタビュー。

担当：月光

「それゆけ！突撃インタビュー。」第6弾です。このコーナーは高知国際中学校と一緒に創りあげてくれる人々に、謎の記者（月光）が突撃インタビューを敢行します。今回は、高知県教育委員会事務局で本県の教育行政の中心的な立場にある、小中学校課課長と高等学校課課長へのインタビューです。

## 小中学校課 黒瀬 渡 課長

### 1 小中学校課課長までの経歴の概略を教えてください。

京都市出身で昭和61年4月から高知県小学校教員として勤務しています。バンコク日本人学校、高知県教育委員会事務局小中学校課、文部科学省実務研修生、高知県公立小学校長、高知県教育委員会事務局東部教育事務所長を経て、平成30年度から現職の小中学校課長です。

### 2 主に、今はどのような仕事をされていますか（高知国際中学校のことも含めて）。

高知県内の公立小中学校（小学校189校、中学校105校、義務教育学校2校）の学力の向上にかかる教員の授業改善等の事業に関すること、例えば、研究指定校への支援、研修会（授業づくり講座、組織づくり講座）などを実施しています。また、高知県内の公立小中学校の教員の人事に関すること（人事異動、臨時教員の配置）を行っています。

### 3 今のお立場から、高知国際中学校をみての印象を教えてください。

グローバル化、少子高齢化など、日本及び高知県を取り巻く状況は、未来予想が困難であり、これからの社会の変化に主体的・協働的に取り組むことができる人材の育成が求められています。高知県に、高知国際中学校が開校したことで、グローバルな世界で活躍できる人材を育成するための学校として期待をしています。そのため、高知国際中学校の生徒の皆さんは、様々な人たちと触れあい、仲良くなり、まわりから自分に必要なことを吸収しながら、しなやかな人に成長されることを大いに期待しています。

### 4 課長が一番楽しい時間（プライベートを含めて）はどんなときですか。

ボーイスカウト活動を長年続けており、オフの時間は自分の趣味である「アウトドア・スポーツ（登山・キャンプ・カヌー・スキー・スノーボードなど）」に興じている時が一番楽しい時間です。

### 5 高知国際中学校にメッセージをいただけますか。

国際と名がついている学校は、日本全国たくさんあると思いますが、高知国際中学校は唯一無二の学校であり、生徒の皆さんが高知国際中学校のこれからの歴史をつくる主人公です。どうか、輝かしい歴史をつくるため、自分の信じ、友だちを信じ、先生方を信じて、チャレンジしてってください。これからも応援しています。

## 高等学校課 竹崎 実 課長

### 1 高等学校課課長までの経歴の概略を教えてください。

大学卒業後に高等学校の教員となり、岡豊高校、室戸高校、禰原高校、高知西高校で通算20年勤務した後、高知県教育委員会に異動となりました。教育委員会では、指導主事、チーフ、課長補佐として8年間勤務した後、1年間、岡豊高校で副校長を務め、平成30年度から現在の高等学校課長になり、本年度で課長2年目です。

### 2 主に、今はどのような仕事をされていますか（高知国際中学校のことも含めて）。

高等学校課は、高知西高校などの県立高校35校と高知国際中学校などの県立中学校4校を担当しており、生徒の学力向上、大学等への進学や就職の推進、公立高校と県立中学校の入試の実施、奨学金などの支援、来年度本で開催される全国高等学校総合文化祭の準備、教員の研修などたくさんの業務を行っています。高等学校課には現在約60名の職員がおり、各業務を分担して担当しています。課長は学校で言えば校長ということになります。職員が担当しているそれぞれの業務がうまくいっているのか確認して、課題を解決しながら進めることで、各校の先生方の仕事をサポートし、生徒の皆さんの成長つなげることが仕事です。

### 3 今のお立場から、高知国際中学校をみての印象を教えてください。

開校以来、何度か訪問もさせていただきましたが、本当に元気がある学校という印象です。特に、統合に先駆けて開校した高知国際中学校に入学した皆さんは、新しい学校の1期生、2期生として自分たちの学校をつくっていくという意欲にあふれているように思います。

### 4 課長が一番楽しい時間（プライベートを含めて）はどんなときですか。

私事ですが、子どもが高知西高校の3年生です。小学校から9年間ソフトボールを続けており、高校でもソフトボール部でした。小学校、中学校、高校と全国大会にも出場でき、中学校では全国準優勝、先日の高校の県体でもベスト4という結果を残してくれました。自分自身もソフトボールをしていたこともあり、子どもの試合の応援の時は、本当に楽しい、大興奮の時間を過ごすことができました。こうした時間をくれた子どもには感謝しています！

### 5 高知国際中学校にメッセージをいただけますか。

将来、高知西高等学校と高知南中学校・高等学校が統合してできる高知国際中高校は、高知県のグローバル教育をリードする新しい学校として大変期待をしています。生徒の皆さんには、高知から世界へ、広い視野と好奇心、探究心をもって、どんどん学びを深めてほしいと思います。今、高知国際中学校で学んでいる皆さんの一日一日が新しい学校の歴史となります。

高知県立高知国際中学校  
〒780-0852 高知県高知市鴨部2丁目5番70号  
TEL:088-844-1221 FAX:088-844-4823  
URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>  
Email: [kokusai-jh@kochinet.ed.jp](mailto:kokusai-jh@kochinet.ed.jp)